

なごや市会だより

広報

名古屋市の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和3年(2021年)12月 第178号

9月定例会特集号

9月定例会は、9月10日から10月12日までの33日間にわたって開かれ、新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算や、条例案、令和2年度決算認定案など市長提出案件26件、議員提出議案4件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

9月定例会の日程(概要)

開会	9/10 本会議	9/15~17 本会議	9/21~28 常任委員会	9/29 本会議	10/1~8 常任委員会	10/12 本会議	閉会
	議員提出議案(決議)について提案説明、議決など(→詳細は、1~4面) 市長提出案件について提案説明	個人質問(→詳細は、2・3面)	市長提出案件について審査	個人質疑(→詳細は、2・3面) 市長提出案件などについて議決(→詳細は、1・4面) 決算認定案について提案説明	決算認定案などについて審査	決算認定案などについて議決(→詳細は、1・4面)	

新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算を可決

- 新型コロナウイルス感染症への対応などに関する補正予算2件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

新型コロナウイルス感染症への対応

中小企業新型コロナウイルスワクチン接種促進事業…20億8,200万円
経済活動の維持・回復のため、従業員等のワクチン接種を推進する市内中小企業者に対し、給付金を支給

新型コロナウイルス感染症自宅療養者等配食サービス事業…12億1,900万円
利用者数の増加による増額

トワイライトスクール等の情報通信ネットワーク環境整備等…2億3,690万円
児童活動の充実等を図るためのトワイライトスクール等の無線LAN環境の整備及び留守家庭児童健全育成事業における無線LAN環境の整備等助成

介護施設等のゾーニング環境等整備補助…1億457万円
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として行う、介護施設等におけるゾーニング環境等の整備費に対する補助

PCR検査費等の公費負担…15億8,400万円
検査件数の増加による増額

新型コロナウイルス感染症医療費の公費負担…8億300万円
患者数の増加による増額

積極的疫学調査・健康観察体制の強化…1億9,900万円
感染者数の増加に対応するため、保健センターにおける新型コロナウイルス感染症の疫学調査及び自宅療養者等の健康観察体制の強化に必要な看護師等を人材派遣により増員

新型コロナウイルス感染症対策救急活動用資器材等の購入…3,702万円
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、救急車内及び消防署所等にオゾン発生器を設置

その他

- ・介護施設等の非常用発電機等整備補助…2億7,355万円
- ・留守家庭児童健全育成事業育成支援体制強化助成…8,747万円
- ・新たな障害者スポーツセンター整備検討調査…700万円

市長の給料の特例に関する条例の制定について賛成少数で否決

- 東京2020オリンピック競技大会の優勝報告における市長の不適切な言動に対する責任を明らかにするため、市長の給料を減額するものです。

否決に至るまでの経緯

○本会議で個人質問が行われた後、総務環境委員会において参考人の出席を求め意見を聴取するなど慎重に審査を進めたところ、各会派より以下の理由により反対であるとの意見表明がなされました。

- | | |
|----|---|
| 自民 | 河村市長自ら、「給料3カ月の返上は今回の金メダル事件の責任の取り方の一部であって全体ではない」と発言しており、今後の市政への影響も見通せない中、「自省、猛省、自戒」、「社会にとって良いことをする」と繰り返し述べるのみであり、行政の長としての責任と政治的な責任とが曖昧で、提案理由にある市長の責任が全体として不明確なまま、給料の減額といった一部の基準のみで判断を求められても、賛同できる状況に至らない 等 |
| 民主 | 市長給料3カ月全額の減額を行うことは、今後、同様の不祥事が生じた場合の参考例として、他の自治体に対して非常に大きな影響を及ぼす懸念があることが参考人の意見で明らかとなり、一方で、市長からの本案は責任の取り方の一部との説明では、金メダル事件全体の責任の取り方が極めて不明確であり、そのような状況では到底賛成することができない 等 |
| 公明 | 専門的な知識、識見を有する参考人の意見・質疑を通じて、今回の金メダル事件の全体の責任の取り方が曖昧なまま給料3カ月の返上により措置することが、今後の同種の事案についての先行事例となり、他自治体等に影響を与えかねない極めて大きな意味を持つ議案であることが明らかとなり、現時点において議会が判断できる状態ではない 等 |
| 共産 | 河村市長による金メダル事件は、名古屋市の代表である立場をわきまえない常軌を逸した行為であり、その後の市長の思慮に欠けた対応にも市民の不信が広がり、今後の市政への影響も見通せない事態を招いている。河村市長には、こうした責任のすべてが問われているが、「自省、猛省、自戒」と繰り返し述べてのみであり、しかもそれは口先だけで、真摯に反省しているとは認められず、給料の減額で責任を取ったことにはならない 等 |

○10月12日の本会議において、採決を行った結果、賛成少数により否決しました。

佐藤ゆうこ理事(減税)に対する問責決議案を賛成多数で可決

- 佐藤ゆうこ議会運営委員会理事が円滑な議会運営を著しく損なう不適切な行為等を行ったとして、その責任を問うものです。

佐藤ゆうこ理事に対する問責決議(概要)

議会運営委員会理事の不信任動議可決後も、理事の職にとどまり続けている佐藤ゆうこ議員は、伊勢湾台風をめぐる不適切な発言により減税を離脱した前田えみ子議員に、主体的に復団を呼びかけただけでなく、議会運営委員会において他の同会派所属委員が復団の前に被災学区へ謝罪に赴くべきだったと発言する中で、復団と謝罪の順番は時としてどちらが正しいというのではないときもある旨の発言などを行い、被災者の心情を再び傷つけるとともに、名古屋市の名誉を著しく毀損した。また、佐藤ゆうこ議員は、議会運営委員会で行われた委員外議員の発言について、同理事会で確認したとおりの議事運営を行った委員長を糾弾したが、これは円滑な議会運営を著しく損なう不適切な行為であり、断じて許されるものではない。このまま佐藤ゆうこ議員が議会運営に係る協議に参加し続ければ、名古屋市の混乱が続くのは必至と考えられるため、猛省を促すとともに、その責任を強く問うものです。

※決議の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

→本件については、採決に先立ち、佐藤ゆうこ議員から一身上の弁明、減税から反対討論、自民・民主・公明・共産から賛成討論が行われました。

一身上の弁明 議会運営委員会での委員外議員の発言について、理事会では最後まで「発言は議会運営に係ることだけ」と主張しており、委員長への糾弾は議会運営に関係ない発言についての指摘であり、決議案は真実と異なる。

反対討論 減税議員と他会派の議論が平行線になった後、減税議員への動議や決議がこの1年半で5回も出ているが、こういう手法は議会の民主的運営に禍根を残す。本案は少数会派の意見を尊重しない不当なものである。

賛成討論 前田議員が被災学区に直接謝罪していないことを知りながら、佐藤議員は伊勢湾台風襲来の日目の前に復団を呼びかけ、被災者の心情を再び傷つけた。同議員が理事の重責の任にないことは明らかである。

個人質問から

9月15日から17日の本会議では、27人の議員が市政全般に対する個人質問を行い、市長はじめ市当局の考えをいただきました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)

本会議での質問などや委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。ぜひご視聴ください。

名古屋市会

検索

中継はこちら▶



9月15日(水曜日)

成田 たかゆき 議員 (自民)

市長の公務出席に対する考え

質問 金メダル事件を踏まえ、一定の配慮からスポーツ関連行事等の公務に市長は出席すべきでないと思うが、
答弁 市長が判断すべきことだが、現在、対外的な公務への出席を基本的に控えており、給料を減額している期間は同様の対応が必要と考える。(中田副市長)

赤松 てつじ 議員 (民主)

学校現場における 新型コロナウイルス感染症のPCR検査

質問 PCR検査キットを直接自宅へ郵送し、回収も郵送で行う検査方法を学校現場でも採用すべきでは。
答弁 保護者の負担軽減や接触機会の回避という点で有効であるため、効果と課題を考慮し、教育委員会と連携して対応可能な業者を確認する。(健康福祉局長)

田山 宏之 議員 (減税)

市長の給料の特例に関する 条例についての市長の考え

質問 金メダル事件への対応として、今回提案した市長の給料を減額する条例についての市長の考えは。
答弁 精神的なものだけではなく、猛省、自戒の念をやっぱり行動で示すことが必要ということで提案させていただいた。(河村市長)

さわだ 晃一 議員 (公明)

病気療養中の高校生の オンラインによる授業参加

質問 病気療養中の高校生がオンラインで授業に参加できるよう、その仕組みづくりに早急に着手する考えは。
答弁 オンライン授業を実施するための環境を整えるとともに、技術とノウハウについて愛知県教育委員会と情報共有するなど、体制づくりを進めたい。(教育長)

江上 博之 議員 (共産)

金メダル事件に対する 市長の責任の取り方

質問 3カ月給料をゼロにすることで金メダル事件の不適切な言動の全ての責任を取ったと認識しているのか。
答弁 当然全てとは思っていないが、痛みのある制裁を科すことは重要と考えた。あとは自省、猛省、自戒、社会にいいことを行って責任を取りたい。(河村市長)

鈴木 和夫 議員 (自民)

新型コロナウイルスに関する 積極的疫学調査のあり方

質問 積極的疫学調査は感染状況に応じて柔軟に行い、感染拡大期には自宅療養者の支援に重点を置くべきでは。
答弁 感染状況に応じた重点化について早急に検討するとともに、ICTの活用等を図り、限られたマンパワーを命を守る業務に重点的に注ぎたい。(健康福祉局長)

うえぞの 晋介 議員 (民主)

国際展示場新第1展示館の 開館記念イベントの開催

質問 新第1展示館の開館に当たり、本市がこけら落としイベントを開催することで利用促進を図る考えは。
答弁 開館記念イベントの開催を検討し、新第1展示館が備える新しい機能や会場の持つ新たな可能性を示すことで催事の誘致を図りたい。(観光文化交流局長)



新第1展示館の展示会イメージ

中川 あつし 議員 (減税)

キャッシュレス決済による ポイント還元事業の提案時期

質問 公約であるキャッシュレス決済による買い物に対するポイント還元事業について、議会への提案時期は。
答弁 現在、どういう業者で、どういうスキームでやるのかを全力で検討している。11月定例会には議案を提案したいので、ぜひご期待をいただきたい。(河村市長)

近藤 和博 議員 (公明)

3歳児健康診査における フォトスクリーナーの導入

質問 子どもの弱視を早期に発見するため、3歳児健康診査においてフォトスクリーナーを導入する考えは。
答弁 健診会場の状況等の検証が必要となるため、モデル事業を実施するほか、医師会等との調整も含め、早急に導入できるよう検討する。(子ども青少年局長)



フォトスクリーナーを使った測定の様子

個人質疑から

9月10日の本会議では佐藤ゆうこ理事に対する問責決議案に対して、9月29日の本会議では一般会計補正予算(第8号)に対して個人質疑を行いました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)



9月16日(木曜日)

さはし あこ 議員 (共産)

校則の見直しに対する 教育委員会の認識

質問 子どもの権利条約を踏まえ、学校の校則について子どもが主体的に見直していく取り組みを応援しては。
答弁 教育委員会としては、校則の見直しは児童生徒の主体性を培う機会になると考えており、各学校において生徒が主体的に取り組めるよう促していく。(教育長)

服部 しんのすけ 議員 (自民)

消防団員の処遇改善

質問 消防団員の確保が課題となっているが、出動手当の基準を国が示したことを踏まえ、処遇改善の考えは。
答弁 出動手当の見直しは消防団の活性化等につながるものと認識しており、消防団の意見をいただきながら、令和4年度からの運用を視野に検討する。(消防長)

塚本 つよし 議員 (民主)

次期総合計画策定時における 若者の参加

質問 若い世代に総合計画の策定に参加してもらい、生み出したアイデアを反映させる取り組みを行っては。
答弁 若い世代に名古屋の将来を考えていただくことは大変意義のあるものであり、将来を担う世代の意見を計画に反映させる効果的な手法も検討する。(総務局長)

余語 さやか 議員 (減税)

区役所および支所における 無料公衆無線LANの整備

質問 市民サービス向上の観点から、全区役所および支所に無料公衆無線LANの整備を進める考えは。
答弁 他都市を調査するとともに既に導入している中村区等の状況も検証し、行政手続のデジタル化などスマート窓口を推進する中で検討する。(スポーツ市民局長)

三輪 芳裕 議員 (公明)

地域の防災活動を支える 「防災サポーター」の育成

質問 防災に対して意欲のある方を「防災サポーター」として育成し、防災啓発等の活動に協力を求めている。
答弁 防災啓発に有用であり、地域防災の担い手の裾野を広げる一助になると思われるため、地域の実情等を踏まえ、導入に向けて検討する。(防災危機管理局長)

さいとう 愛子 議員 (共産)

名古屋市図書館第1ブロックの 施設整備方針(案)

質問 図書館を縮小再編する方針案では名東図書館も縮小されるが、地域によって利便性に差が生じるのでは。
答弁 駅周辺等にスマートライブラリーを整備し、ニーズに合った本を展示する等、方針案に掲げる市民の生活に寄り添い役立つ図書館を目指す。(教育長)



名東図書館

岩本 たかひろ 議員 (自民)

金メダル事件が スポーツ行政に与える影響

質問 今回の事件で名古屋まつりの協賛を辞退した企業もあったが、アジア競技大会への影響も大きいのでは。
答弁 アジア競技大会や大会後も見据えたスポーツ振興に影響があると強い危機感を持っており、市の取り組みにより信頼回復しなければならない。(杉野副市長)

山田 昌弘 議員 (民主)

カーボンニュートラルに向けた 車両購入の補助制度

質問 温室効果ガスの削減に向けて、来年度にも、走行中に二酸化炭素を排出しないゼロエミッションビークルを市民個人が購入する際に補助を行うべきでは。
答弁 国および他の政令指定都市の実施状況を参考に、早期に実施できるよう検討する。(環境局長)

豊田 薫 議員 (減税)

名東区の自死事案を踏まえた いじめ対策についての所見

質問 本市のいじめ問題再調査委員会の調査報告書の提言を受け、いじめ対策についての所見を伺いたい。
答弁 各学校におけるいじめ対策がしっかり機能するよう取り組むとともに、提言を踏まえ、強い決意を持って対策を講じることが重要だと考える。(廣澤副市長)

9月10日 浅井 康正 議員 (減税)

佐藤ゆうこ理事に対する問責決議案

質問 前田えみ子議員を復団させたことで1人の議員に対し問責決議を行うことは議会の権限を超えるのでは。
答弁 被災者の心情を傷つけたことは事実。減税の幹事もお詫びを先にすべきだったと発言しており、議会内の声にも耳を傾けて欲しい。(さわだ晃一議員(公明))

9月17日(金曜日)

小林 祥子 議員 (公明)

がん教育における外部講師の活用

質問 がん教育を本格実施するに当たり、外部講師を活用する体制づくりを進めるべきでは。
答弁 医師やがん患者等の外部講師を活用することは有効であると認識しており、教育委員会と連携し、有識者の意見も伺い、検討を進めたい。(健康福祉局長)

斉藤 たかお 議員 (自民)

SDGs達成のための新たな方策

質問 SDGs達成に向け、新たにSDGs債の仕組みを導入し、本分野の機運醸成等に取り組む考えは。
答弁 SDGs債の導入は、本分野への民間投資の活性化や目標達成に向けた機運醸成につながると考えられ、先行事例を参考に関係局と検討を進める。(総務局長)

おくむら 文悟 議員 (民主)

機能性向上に向けた 名城庭球場の整備

質問 クラブハウスの設置等、大規模大会誘致を視野に入れた名城庭球場の機能性向上に向けた整備の考えは。
答弁 大規模大会等の開催に必要な機能を調査しており、利用者等の利便性を考慮した上で、令和6年度までには整備を終えるよう取り組む。(スポーツ市民局長)

大村 光子 議員 (減税)

コロナ禍における観光推進施策

質問 全国規模の国内旅行がままならない中、近場を旅するマイクロツーリズムに活路を見いだす考えは。
答弁 感染症の動向を注視しつつ、地域の声を聞き、新たなターゲットや魅力の掘り起こしを目的としたマイクロツーリズムの推進に取り組む。(観光文化交流局長)

中田 ちづこ 議員 (自民)

本市における 駅ピアノ・街角ピアノの取り組み

質問 本市に寄贈されたピアノを活用し、コロナ禍での心の癒しになる、駅ピアノ・街角ピアノを実施しては。
答弁 現在、関係各所と協議・調整を進めており、令和4年1月以降でナディアパークをはじめ3か所同時に実施できるよう準備を進める。(観光文化交流局長)



設置予定のグランドピアノ

久野 美穂 議員 (民主)

名古屋市役所における 女性幹部職員の割合の向上

質問 女性幹部職員の割合の目標について、現在の15%からせめて国の目標値並みの30%に変更すべきでは。
答弁 年度途中に育児休業を取得しても正規職員を配置できるよう検討する等、今後拡充する取り組みの効果も見据え、早く国並みの目標を達成したい。(総務局長)

鹿島 としあき 議員 (減税)

タブレット端末の活用による 子どもたちの学びの変化

質問 市内小中学校へのタブレット端末の配布整備が完了したが、子どもたちの学びはどう変わるのか。
答弁 理解や興味に応じた学習が進めやすくなり意見交換が盛んになる。一方、正しい情報等を取捨選択して活用する力を育むことも必要になると考える。(教育長)



伊神 邦彦 議員 (自民)

市長公約の キャッシュバック事業に係る財源

質問 買物還元総額200億円のキャッシュバック事業について、どのような行政改革で財源を確保するのか。
答弁 大変難しい課題であり現時点では具体的な方策を想定しているものではないが、今後、財源確保の具体化に向け、総務局と連携して取り組みたい。(財政局長)

浅井 正仁 議員 (自民)

名古屋城天守閣木造復元に向けた 解体申請の取り下げ

質問 6月定例会で局長は解体申請は取り下げないと答弁したが、今は返却していただいたと答弁している。文化庁も取り下げと認識しておりごまかしの答弁では。
答弁 文化庁にも聞き、取り下げは断念と思われるから出し直すというよう私が局長に指示した。(河村市長)

会派の略称説明

- (自民) …自由民主党名古屋市会議員団
- (民主) …名古屋民主市会議員団
- (減税) …減税日本ナゴヤ
- (公明) …公明党名古屋市会議員団
- (共産) …日本共産党名古屋市会議員団
- (未来) …名古屋未来
- (無会) …無所属の会

9月29日 江上 博之 議員 (共産)

中小企業新型コロナウイルス ワクチン接種促進事業

質問 中小規模事業者におけるワクチン接種を推進するため、効果や必要性について周知する努力が必要では。
答弁 今回の事業やワクチンに対する国の考え方等の情報について、広報なごや等に掲載するとともに、各経済団体等にも協力を依頼し、周知に努める。(経済局長)

9月29日 北野よしはる 議員 (自民)

中小企業新型コロナウイルス ワクチン接種促進事業

質問 給付金を希望する企業への速やかな審査・支給が可能となるよう、本市独自の工夫をすべきでは。
答弁 提出書類の簡素化を図り、専用ウェブサイトで申請方法を周知する等、分かりやすく、簡単、速やかに給付金の申請・交付を行えるよう準備する。(経済局長)

9月定例会 提出案件の賛否

市長提出案件

■以下の18件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定または可決及び認定、人事案件については同意)しました。

- 《条例案》●個人情報保護条例の一部改正
- 《補正予算》●令和3年度名古屋市一般会計補正予算(第7号)など2件(→詳細は1面)
- 《一般案件》●市道路線の認定及び廃止
- 《決算認定案》●令和2年度名古屋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定など12件
- 《人事案件》●農業委員会の委員選任 ●愛知県公安委員会の委員推せん



議員提出議案

■以下の3件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

- 意見書
- 少人数学級の推進、計画的な教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書
中学校の学級編制の標準を早期に全学年35人にするとともに、さらに義務教育における少人数学級を推進し、30人学級を実現することなどを強く要望するものです。
- 出産育児一時金の増額を求める意見書
出産育児一時金を現在の出産費用に見合う額に引き上げるよう強く要望するものです。
- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
令和4年度以降3年間の地方一般財源総額について、社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せが及ばないよう、十分な総額を確保することなどを強く要望するものです。

令和2年度決算認定案について「認定」または「原案どおり可決及び認定」

■「令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、いずれも「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の
決算状況

- 歳入決算額は1兆5,208億円余、歳出決算額は1兆5,037億円余でした。
- 前年度に比べ、歳入は2,856億円余増加し、歳出は2,804億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源88億円余を差し引いた実質収支は83億円余の黒字でした。

➡「令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、共産から反対討論(理由:コロナ対策を進めるうえで市長の姿勢に問題があったこと。コロナで苦しんでいる市民に負担を強いたこと。見直すべき大型事業や金持ち減税を漫然と続けたこと。)が行われました。

■各会計決算認定案19件について、常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

総務環境委員会	○議会からの特別秘書への指摘内容及びその対応 ○再犯防止推進モデル事業の支援実績及び効果
財政福祉委員会	○督促状の作成件数や様式 ○なごや認知症の人おでかけあんしん保険事業の加入者数
教育子ども委員会	○ライフキャリアサポートモデル事業の取組実績 ○いじめ対策に係る検討状況
土木交通委員会	○市道弥富相生山線の現地保全に係る経費を含めた総事業費及び検討状況 ○停留所の広告付き上屋の設置状況
経済水道委員会	○先進技術社会実証支援等事業における企業からの提案状況 ○名古屋城天守閣木造復元事業の進捗状況及び名古屋城周辺の景観整備に係る当局の認識
都市消防委員会	○防災危機管理局の組織体制 ○地下街耐震改修の実施状況

🗨️ 委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

常任委員会の正副委員長が交代しました

9月定例会では、減税所属の、中川あつし財政福祉副委員長、余語さやか教育子ども副委員長、鹿島としあき経済水道委員長に対し、それぞれの委員会で不信任動議が提出され、採決を行った結果、賛成多数によりいずれも可決されました。これを受け、次の通り常任委員会の正副委員長が交代しました。

委員会	新	旧
財政福祉委員会	手塚将之副委員長(未来)	中川あつし副委員長(減税)
教育子ども委員会	木下優副委員長(公明)	余語さやか副委員長(減税)
経済水道委員会	渡辺義郎委員長(自民) 三輪芳裕副委員長(公明)	鹿島としあき委員長(減税) 浅井正仁副委員長(自民)

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

■以下9件について、賛否と結果は下記の表のとおりです。

- ①…佐藤ゆうこ理事に対する問責決議案
- ②…市長の給料の特例に関する条例の制定
- ③…令和2年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案7件

会派	氏名(区)	議決結果		
		① 可決	② 否決	③ 認定または可決及び認定
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	×	○
	中川貴元議員(東区)	○	×	○
	渡辺義郎議員(北区)	○	×	○
	浅野有議員(西区)	○	×	○
	斎藤たかお議員(中村区)	○	×	○
	小出昭司議員(中村区)	○	×	○
	中田ちづこ議員(中区)	○	×	○
	西川ひさし議員(昭和区)	○	×	○
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	×	○
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	×	○
	岡本善博議員(中川区)	○	×	○
	浅井正仁議員(中川区)	○	×	○
	吉田茂議員(港区)	○	×	○
	藤沢ただまさ議員(南区)	○	×	○
	鈴木和夫議員(南区)	○	×	○
	松井よしのり議員(守山区)	○	×	○
	北野よしはる議員(守山区)	○	×	○
	中里高之議員(緑区)	○	×	○
民主	岩本たかひろ議員(緑区)	○	×	○
	丹羽ひろし議員(名東区)	○	×	○
	成田たかゆき議員(天白区)	○	×	○
	斎藤まこと議員(千種区)	○	×	○
	山田昌弘議員(千種区)	○	×	○
	服部将也議員(北区)	議長	議長	議長
	うえぞの晋介議員(西区)	○	×	○
	うかい春美議員(中村区)	○	×	○
	塚本つよし議員(中区)	○	×	○
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	×	○
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	×	○
	森ともお議員(熱田区)	○	×	○
	久野美穂議員(中川区)	○	×	○
	赤松てつじ議員(中川区)	○	×	○
	加藤一登議員(港区)	○	×	○
	橋本ひろき議員(南区)	○	×	○
	小川としゆき議員(守山区)	○	×	○
	岡本やすひろ議員(緑区)	○	×	○
減税	日比美咲議員(名東区)	○	×	○
	田中里佳議員(天白区)	○	×	○
	佐藤ゆうこ議員(東区)	※	○	○
	田山宏之議員(北区)	×	○	○
	鹿島としあき議員(西区)	×	○	○
	豊田薫議員(中区)	×	○	○
	大村光子議員(昭和区)	×	○	○
	前田えみ子議員(瑞穂区)	×	○	○
	中川あつし議員(中川区)	×	○	○
	沢田ひとみ議員(港区)	×	○	○
	河本ゆうこ議員(守山区)	×	○	○
	余語さやか議員(緑区)	×	○	○
	浅井康正議員(名東区)	×	○	○
	鈴木孝之議員(天白区)	×	○	○
	田辺雄一議員(千種区)	○	×	○
	長谷川由美子議員(北区)	○	×	○
	さわだ晃一議員(西区)	○	×	○
公明	中村満議員(中村区)	○	×	○
	木下優議員(中川区)	○	×	○
	吉岡正修議員(港区)	○	×	○
	さかい大輔議員(南区)	○	×	○
	金庭宜雄議員(守山区)	○	×	○
	近藤和博議員(緑区)	○	×	○
	小林祥子議員(名東区)	○	×	○
	三輪芳裕議員(天白区)	○	×	○
共産	岡田ゆき子議員(北区)	欠	×	×
	江上博之議員(中川区)	○	×	×
	さはしあこ議員(緑区)	○	×	×
	さいとう愛子議員(名東区)	○	×	×
	田口一登議員(天白区)	○	×	×
未来	手塚将之議員(千種区)	○	×	○
	増田成美議員(緑区)	○	×	○

○…賛成 ×…反対 欠…欠席
議長…議長のため議決に参加できない
※…自己の一人身上に関する事件のため議決に参加できない

- 8月18日に「減税」から手塚将之議員の離団届が提出され、同日、同議員は「未来」に加入しました。
- 8月20日に「無会」から解散届が提出され、同日、前田えみ子議員は「減税」に加入しました。
- 10月19日に中川貴元議員は衆議院議員選挙への立候補に伴い、市会議員を退職しました。